

まちづくりの目標	6	活力ある産業のまち
政策	1	産業を支え、活力のあるまちにします

施策	2	農業に親しめるまちにします	担当部(統括部)	生活環境部
----	---	---------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	福祉農園や医療農園など多様な市民農園ができ、子どもから高齢者まで幅広い層の人たちが農業に親しんでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	地域特産物である鳥飼なすの生産が拡大し、市の伝統野菜として多くの人に知られています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
市民農園の面積	目標	—	—	8,000㎡	8,500㎡	9,000㎡	9,500㎡	10,000㎡	11,000㎡	11,500㎡	13,000㎡
	実績	7,216㎡	8,052㎡	9,498㎡	9,498㎡	9,498㎡					
鳥飼なすの耕作面積	目標	—	—	1,800㎡	1,900㎡	1,900㎡	2,000㎡	2,000㎡	2,200㎡	2,300㎡	2,500㎡
	実績	1,129㎡	1,844㎡	1,844㎡	1,844㎡	1,844㎡					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎市民農園の拡大						
市民農園の拡大により農地の保全を図ります。また、農園利用者に作付け指導を行うとともに、指導できる人材を育成します。						
平成27年度事業	◇市民農園設置事業1,793千円(産業振興課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理
取組実績	千里丘市民農園の未貸与地の利用促進と管理に努めた。					
成果	千里丘市民農園において、すべての農地の貸し出しが完了した。					
次年度課題	すべての農園で、使用団体が自主的に管理に参画するよう検討する。					
計画	農園利用者との情報共有と作付けに関する利用者間の情報交換	農園利用者との情報共有と作付けに関する情報交換	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成
取組実績	農業振興会主催の野菜苗・花即売会、農産物品評会、農産物コンテストについて、各農園代表者へのダイレクトメールを実施した。同じく、振興課主催の野菜研修会への参加についてもPRし、参加者との情報交換に努めた。					
成果	利用者から農産物品評会への出品者及び点数が43名 170点から42名 133点となった。また、野菜研修会の参加者は36名であった。					
次年度課題	農業振興会主催の野菜栽培技術講習会の内容を深化させ、農園利用者の参加を促す。平成23年度から始まった大阪府準農家制度などのPRに努めるとともに、その登録者を募る。					
計画	市内農地の把握	市内農地の状況把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握
取組実績	農業委員会、固定資産税課と連携して、休耕地の把握を行った。					
成果	市内75筆の休耕地を把握することができた。					
次年度課題	新しい市民農園開設ニーズに応えるため、市内農地の状況把握に努め、新たな農園開設のため地域の農業委員と連携する。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	多様な農園形態の研究	体験型市民農園の運営と多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	誰もが親しめる多様な農園の拡大
取組実績	次年度より設置するNPO団体と体験型市民農園の設置、運営について協議した。					
成果	誰もが気軽に参加できる体験型市民農園を次年度より開催できるよう調整を行うことができた。					
次年度課題	初めて設置する体験型市民農園の円滑な運営に努める。					

◎鳥飼なすの保存奨励

地域特産物である鳥飼なすの保存と生産拡大に努め、イベントにおける苗の販売や植付け指導、学校や高齢者施設などへの食材提供を行い、周知・振興を図ります。

平成27年度事業		第5期実施計画期間					後期終了年度
◇鳥飼なす保存奨励事業768千円(産業振興課)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及
取組実績	農業振興会に委託し、鳥飼なすの種の保存、普及を行った。また、近代的な農法を導入し、生産性の向上に努めた。						
成果	農業振興会が鳥飼なすを栽培し、苗、生なす、漬物を販売した。また、コミュニティプラザレストランで鳥飼なすを使用した地域限定メニューの提供に協力いただいた。						
次年度課題	ローテーションで農地が替わるため、近代的な農法を取り入れ、より効率の良い鳥飼なすの収穫ができるよう、市農業振興会との連携に努める。						
計画	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大
取組実績	なすの新しい栽培方法について、府等から情報収集を行う。また、知名度を上げるために鳥飼なすをモデルにした新たなキャラクターを作成した。						
成果	農業祭等イベントにキャラクターを登場させるとともに、主催事業のテラン等でも登場させ、鳥飼なすのPR向上につながった。						
次年度課題	今後とも新しい栽培方法について、府等から情報収集を行い、鳥飼なすの栽培に導入できるものがあれば、市農業振興会に情報提供を行う。						
計画	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存の両立
取組実績	市街化農地、生産緑地での鳥飼なす保存が持続的に図れるよう、また、拡大が図れるよう候補農地等について検討を行った。						
成果	鳥飼地域を中心に検討を行うことが確認できた。						
次年度課題	鳥飼なすが栽培できる環境のある農地の選定を引き続き行う。						
計画	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大
取組実績	市民農園利用者に鳥飼なすの苗、約300株を配布した。						
成果	鳥飼なすを市民農園で栽培してもらったことで、育成者拡大を図ることができた。						
次年度課題	鳥飼なすの育成者拡大を図り、品評会での鳥飼なす出品者の増加を図る。						

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大
取組実績	市立小学校全3年生、幼稚園、保育所で鳥飼なすの苗の植え付け指導を実施した。また、9月に小学校給食への食材提供を行った。さらに、コミュニティプラザレストランで、期間限定メニューによる鳥飼なすを提供された。					
成果	植付け指導をした全小学校10校から農産物品評会への出品があった。農業祭には、植付け栽培の様子を記録した全校の掲示物が掲出された。					
次年度課題	小学校等と連携し、植付け指導等による食育を継続する。また、食材等の供給ルートの開拓を行う。					
計画	保存用作物付け農地の確保と拡大	保存用作物付け農地の確保と拡大	保存用作物付け農地の確保と拡大	保存用作物付け農地の確保と拡大	保存用作物付け農地の確保と拡大	保存用作物付け農地の確保と拡大
取組実績	人・農地プランを策定した鳥飼八町地区における農地の状況把握に努めた。					
成果	農地の出し手4件、受け手2件のニーズ把握ができた。					
次年度課題	鳥飼なすの作付に適する農地かどうかを調査する。					

○農業振興活動の支援

将来、本市農業を担う農業者や農業に係る団体が、地域の農業の振興を図るために行う活動やイベント開催に対し支援します。

平成27年度事業 ◇農業祭事業1,350千円・◇農業団体育成事業523千円(産業振興課)

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催
取組実績	11月10・11日に第33回農業祭を開催した。					
成果	地元の野菜や協賛市の特産品等の販売、農産物コンテスト等を実施し、2日目に雨天に見舞われたが2日間で10,000人が来場した。					
次年度課題	多くの市民に来場してもらえる農業祭を企画し開催する。					
計画	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	植木即売会の開催
取組実績	4月17日から21日で野菜苗・花即売会を開催した。					
成果	市内の花屋さんによる花販売と野菜・鳥飼なすの苗、園芸用品等の販売を行い、市民農園利用者や市内農業者らを中心に来場があった。					
次年度課題	即売会の開催場所の検討を行う必要がある。					
計画	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催
取組実績	7月10日に農産物品評会を会場をコミュニティプラザに移して開催した。					
成果	78人から345点の出品があった。					
次年度課題	出品者ならびに出品数の増加を図る必要がある。					
計画	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催
取組実績	新規就農に関する情報収集に努めた。					
成果	新規就農者育成に資する情報を収集することができた。					
次年度課題	次代に応じたイベントのあり方の研究に努めながら、八町地区における人・農地プランを推進していく。					

○農地の保全						
遊休農地の発生を防止、農地の持つ緑地・農空間を緑化や災害時の一時的な避難場所として活用します。						
平成27年度事業 ◇農業委員会運営事業7,133千円・◇花とみどりの景観事業3,003千円・◇農業地域力創造推進事業660千円(産業振興課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	遊休農地パトロールの実施	市内全農地パトロールの実施	市内全農地の把握	市内全農地の把握	市内全農地の把握	市内全農地の把握
取組実績	9月24日、25日に農業委員会による農地パトロールを実施した。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	引き続き、地域担当農業委員による地域の農地の状況把握が必要である。					
計画	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止
取組実績	農業委員による休耕農地所有者への事情聴取等を実施した。また、花とみどりの景観事業を活用し、緑化推進を図った。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	高齢化等による担い手不足への対応が必要である。					
計画	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積
取組実績	人・農地プランとリンクする地域水田フル活用ビジョンを策定し、地域の需要に応じた作物の生産振興を進め、作物生産の維持・拡大を図ることとした。					
成果	プランの対象となる鳥飼八町地区にプランのパンフレットを配布し、人農地プランの推進を図ることができた。					
次年度課題	出し手と受け手を利用権設定によって結びつけていく。					

○農業体験の推進						
学校の学習農園としての稲作実習や鳥飼なす栽培などの農業体験を通し、食育を行います。また、関係機関と連携し、民間施設や福祉施設などの農業体験を支援します。						
平成27年度事業 ◇米消費拡大推進事業913千円(産業振興課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施
取組実績	市内全小学校で、5年生751人を対象とした農業体験学習を実施した。					
成果	体験学習を通じて、田植えや稲刈り作業の大変さを体感してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田を確保していく必要がある。					
計画	他市事例等、食育についての研究	他市事例等、食育についての研究	食育の充実	食育の充実	食育の充実	食育の充実
取組実績	各校で自分たちが植付け刈り取りを行った米を使って、カレーパーティーなどが実施された。					
成果	自分たちで育てたお米のおいしさを体験してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田の確保と及び取組みの継続的な実施必要である。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施
取組実績	市立小学校、幼稚園、保育所で鳥飼なすの植付け、栽培体験を実施した。					
成果	小学3年生については全員に植付け体験をしてもらうことができた。体験を通して自然の大切さや農作業の大変さを学んでもらうことができた。					
次年度課題	小学校等と連携して実施する。					
計画	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	植付け・栽培体験の対象者の拡大
取組実績	鳥飼なすの植え付けを公立保育所、こども園、幼稚園でも行い、こどもたちも植付の体験を行った。					
成果	植物、命の大切さに触れる機会が提供できた。					
次年度課題	市内の様々な施設での農業体験のあり方について研究する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

団体への市民農園の貸出し						
より多くの市民に自然とのふれあいや土に親しむことを楽しんでもらうため、市が市内の農地を借り上げ、市民農園として老人クラブ・自治会などの団体に貸し出します。						
平成27年度事業	◇市民農園設置事業293千円(産業振興課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大
取組実績	積極的に市民農園に赴き、情報共有に努めた。また、千里丘市民農園で新たに1団体が利用を始めた。					
成果	市民農園の利用団体が延べ53団体となった。					
次年度課題	農産物品評会や農産物コンテストなど農業関連イベントへの積極的参加を促す。					

鳥飼なすの保存奨励						
大阪府の「なにわの伝統野菜」に選ばれており、市の特産物として保存と生産拡大に取り組みます。						
平成27年度事業	◇鳥飼なす保存奨励事業768千円(産業振興課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大
取組実績	農業振興会への委託により、鳥飼なすの種の保存・普及のために、苗、生なす、漬物の販売等を行った。					
成果	鳥飼なす苗の植え付け本数を例年より抑制しながらも例年に劣らない収量を確保できた。					
次年度課題	より品質が高く、効率の良い鳥飼なすの収穫を研究していく。					